

3月 ようちえんだより

幼保連携型認定こども園
西神戸 YMCA 幼稚園

今年度最後の月を迎えました。子どもたちは安心できる空間で、安心できる仲間と、安心できる時間を過ごしています。この一年での子どもたちの心と身体の著しい成長を感じています。

先日は劇参観にお越しくさうりありがとうございました。子どもたちひとりひとりがクラスの一員として活動している姿に成長を感じてくださったことと思います。

西神戸 YMCA 幼稚園ではこのような子どもたちの内面を引き出す表現活動を大切にしています。幼稚園のカリキュラムでは「言語表現」「身体表現」「音楽表現」「造形表現」「運動表現」の5つの表現を、まずはひとりひとりが自分の得意な表現法で内面を表現する喜びを感じられるように。次に充足感を得て、違う表現にもチャレンジ出来るように年間計画されています。

年度末に活動するこの【劇遊び】は、この5つの表現が網羅されており、ひとつのテーマを通してひとりひとりが得意な表現法で存分に楽しめる遊びです。

「言語表現」では当日、上手くセリフを言えることを特訓するのではなく、物語を聴いて思ったことを発言したり、自分の考えを言ったり、友だちの意見を聞き入れたりする「過程」を大切にしています。「身体表現」や「音楽表現」「運動表現」も同様にそれぞれ当日に向けて猛特訓するのではなく考えたこと、思ったことを思い思いに表現することを楽しみ、お互いに認め合う「過程」を大切に取り組んでいます。

「造形表現」では劇の背景の壁面製作や小道具に子どもたちの“手の跡”“作業の跡”の「過程」がしっかりと形となって表されます。

台本のないこのような【劇遊び】は子どもたちの自由な発想で日々深められ『クラスの子どもたちと先生のもの』となり、セリフに感情がこもったり、動きに勢いや柔らかさが増してきます。

また、クラスの子どもたちの思いがひとつになった劇だからこそ観る者の心を動かします。

3歳児の、思い思いに活動していた子どもたちが集団の輪の中で仲間と楽しむ姿。4歳児の、“仲間と心を合わそう”とお互いに顔を見合わせる姿。5歳児の、「観て！観て！」とたくさんの人に観てもらうことを喜ぶ自信溢れる姿。そのひとコマひとコマの姿に成長を感じられたことと思います。

【劇遊び】は年度末だからこそ出来る『クラスの共同作業』です。この姿を見ると幼稚園での子どもたちの一年は、毎日が人と交わりの中で、感じ考え過ごす充実した尊い営みだと実感します。

また物語の中には多くの冒険や挑戦や課題があり、子どもたちは物語を通して果敢に挑みます。その中で喜び、悲しみ、楽しみ、怒り、時には絶望の感情を抱き、悩みつつ仲間に助けを求めたり、協力し合いながら、解決に向けて立ち向かっていきます。物語を深く読み取り、登場物の心情を考えるこの行程では必ず、YMCAの提唱する4CD＝4つの心（「優しさ」「誠実さ」「責任感」「尊敬心」）の大切さに行き当たります。「自分を大切にするとともに、自分以外の人も大切に生きる方を身につける」というこの活動を幼稚園では日々、子どもたちと考えてきました。

この4つの価値はこの先、進んでいく中で迷ったり立ち止まったりした時に、子どもたちの道標になると信じています。

2024年度は、『さあ、漕ぎ出そう 奏でよう』を年主題として過ごして参りました。

子どもたちは自分の進みたい方向へと船を漕ぎ出し、また自分らしい音色を奏でています。

私たちもひとりひとりの次なる道へ進む姿を、喜んで送り出したいと思います。

保護者の皆様には1年間、温かいお見守りとお支えをいただきましたことを心より感謝致します。ありがとうございました。

※ 4CD...キャラクターディベロップメント

＜キャラクター＞は（人格・性格）＜ディベロップメント＞は（向上）を意味します。

【年主題】

『さあ、漕ぎ出そう 奏でよう』

【年主題聖句】

「わたしは道であり、真理であり、命である。」（ヨハネによる福音書 14 章 6 節）

3月主題 「なかまと心はずませて」

聖 句 「わたしはあなたと共にいる。」（イザヤ書 43 章 5 節）